

# 新山協ニュース

▲ 発行者 鈴木敏雄 ▲ 発行所 新潟県山岳協会  
〒940 長岡市学校町1-12-23 室賀輝男 TEL 0258-32-0428

## 国体山岳競技

技術強化委員長 藤井 信

第五回北信越国体山岳競技は、7月27日から29日の3日間にわたり、石川県の鳥越村と吉野谷村を会場として熱戦が繰り広げられた。

競技中選手の皆様が全力を尽し気力を燃した健闘振りは、半年後の今でも脳裏にはつきりと思い出すことができます。

また、成年男子が出場した第39回国体奈良大会(わかくさ国体)は、10月13日から16日までの4日間、大峯、大台ヶ原山系を会場として行なわれました。成年男子も競技に真剣に取り組み大活躍しました。

選手、監督の皆様大変ご苦勞様でした。改めて心から敬意を表するものであります。

国体山岳競技に対して今後の対策について

① 県予選会の期日あるいは予選方法。  
北信越国体の予選期日が一ヶ月早く、7月の下旬になつたため、県予選会を現状通りに行なうなら、選手の技術強化の面で日程的に対応が困難

② 選手層の拡大  
山岳競技はチームプレーである、したがって、選手は一年間の大会出場で終ることなく、最低、チームの中に前年度の経験者を入れたチーム編成をする。 possibleの限り選手は連続出場する体制を確立することである。

③ 監督、コーチ層の拡大  
現在、県協会では専門委員の中で技術強化委員会3名で担当、その都度選手決定と同時に監督、コーチを委嘱しているが、4地区にそれぞれ国体委員を設け、選手層の充実と合わせて、国体委員会を拡大充実しなければならぬ。

④ 選手強化費  
山岳競技の特殊性として、競技に勝つためには、大会競技会場で、繰り返し繰り返し練習しなければならぬ。そのためには、選手、監督、コーチ等を含めた技術強化費をなんとかしなければならぬ。

58年度は競技水準向上対策事業の中の特別強化合宿事業を受けることになり、成年、少年と計96万2千円体育協会から補助していただきましたが、59年度は成績の関係もあって、ゼロ査定でありました。理事会で協会理事より協力費をお願いすることに決定。多くの理事からご協力して頂きました。

### 国体選手強化対策費のご協力に感謝して

58年度は競技水準向上対策事業の中の特別強化合宿事業を受けることになり、成年、少年と計96万2千円体育協会から補助していただきましたが、59年度は成績の関係もあって、ゼロ査定でありました。理事会で協会理事より協力費をお願いすることに決定。多くの理事からご協力して頂きました。

きました。(順不同)

- 室賀会長、小林副会長、望月副会長、鈴木理事、増子輝男、今成幸夫、むさび会、齊藤平七、佐藤一栄、笠原藤七、内藤修、石田国夫、小林重弘、高橋正英、杉原八百樹、五十嵐篤雄、井口正男、杉本敏、三富一弥、桑原悌治、安野正弘、阿部信一、藤井信、清松、ラーナーと語る会。

### 第五回北信越国体雑感

#### 協力と努力と笑い

越後山岳会 山田 智 子

梅雨明け宣言がされてまもない7月27日、29日にかけて石川県吉野谷村で北信越国体が開催され、成年女子は総合第二位であった。

5月の予選会に始まり、二転三転の選手選考後、強化訓練に入ったのが6月10日の八木鼻であり、わずか二ヶ月後の本大会であった。所属山岳会が異なる3名のチーム構成だったにもかかわらず、最初からウマが合ったのかもしれないが、チーム・ワークの良さは抜群だった。しかし、大会までの期間が短かく、果し

強調したいことは、各選手と同様に、自分の山行も義務も返上して、年々その形態を変える国内内容を取り組みながらの吉野監督、高橋コーチの絶大なる協力を、多くの人達に解ってもらいたいと思う。県山協や、何人かの協力も大きかったと思うが、お二人は昨年に引き続きの大役で、ご家族の協力はもとより、犠牲の多かったことが伺われます。お二人が献身的に指導する姿勢に、選手の皆様もいような面で励まされ、頑張ることができたのではないでしょう。

失敗もあったが、踏査競技では設問を全問正解、ほとんどのチームが制限時間をオーバーした中で、19分も前に走ってゴールインしたり、登攀競技では、元気のいいかけ声に見学者の爆笑を誘ったり、縦走競技では、特区间で全チームの最後に出発してごぼう抜きをするなど、想い出に残る数々のエピソードがありました。

県をあげて訓練や費用をバックアップし、何が何でも勝たねばという長野に比べれば、比較にならない新潟であるが、底ぬけに明るいムードと、2ヶ月でここまでにと、それなりの評価もあったし、

年々レベルアップしてきているとも聞かされた。これまで多くの方々が苦勞されてこられたのも周知の事実であるが、本大会でも選手の要請がつかず、2チームの欠場があったように、毎年予選参加チームも減り、選手選考が難かしくなっているのは新潟ばかりでなく、どの県にも共通した悩みになっているようである。

やればよかっただけのものが確実に身につけて残るのである。若い人達が興味を示すような方向づけになる指針はないものなのだろうか。経験豊富な諸先輩のご指導で、早急に対策が講じられますことを期待したいと思えます。

訓練から大会まで、常に笑いがあって、ほんとうに明るかったチームのムードと、選手の皆さんの、こんなに燃えて山に取り組んだのは初めて——の言葉が、今も印象深く想い出される。合わせて感じたことは、監督、コーチ陣に全てまかせられるのではなく、一生懸命訓練に励む選手に、多勢の人達の少しづつの協力が得られたら、それが強力な指導力となり、成果につながるのではないかと考えた。

この2ヶ月間、私にできることがあるのならと甘い考え

で少しばかりお手伝いをさせてもらったが、反対に多くのことを経験させて頂きました。私ごときが生意気を承知で、監督、コーチ陣、選手の皆さんの努力を一人でも多くの方々に解って欲しい気持ちから、つたない報告を記した次第です。

### 奈良国体

#### 現地訓練顛末記

越後山岳会  
山田 智子

9月13日、19時半、現地訓練のため県山協のワゴン車で新潟を出発する。途中、夜食休憩を一度やっただけで、北陸と名神高速道を、運転手交替でひたすら走った。14日早朝、雨の奈良へ着く。会場は吉野杉の産地、吉野郡天川村で、奈良駅から更に3時間近くもかかる紀伊山地のほぼ中央部に位置している。山岳信仰の発祥地、大峯山系である。7時に登攀会場の登り口に着。附近には来年の国体開催県鳥取や、同じブロックの長野のマイクロボスが駐車してあった。さっそく朝食を済ませて登攀会場の池峯東壁へ急ぐ。遊歩道と案内されて

あるが、たっぶり15分のかかりきつい登りになっていった。すでにパイプが組立てられ大会準備が出来ている壁には、早くも地元奈良のザイルを張っていた。「昨夜来ました」というほどに、地元の人達にとっても速い会場ようであった。ルートは40Mの4級+とか。9時、10時と時間が経つにつれ、どんどん各県の選手団が上がって来て、張っているザイルが右往左往してクモの巣のようになる。やはり連休を利用して遠路をやってくるのはどの県も同じで、順番待ちをするほど大勢になる。一時は晴れた雨も、しとしとから小降り、本降りとなり、折角意気込んで壁にとり付いている選手には無情の雨に変わった。それでも止めて帰るチームはいなくて、夕方迄賑わっていた。我チームも予定時間をオーバーする結果になり、踏査会場を回れないロスが出た。

泊りは村内の洞川温泉キャンプ場。登攀会場から天ノ川支流、川迫川沿いのくねくね道路を30分位走り、「陀羅尼助」なる温泉街を抜けるとすぐだった。山岳信仰の発祥地らしく、「〇〇回登山記念」の碑や、般若心経の経文などがいたるところに見受けられ

た。キャンプ場は、屋根付き設備の快適なテント場で、雨に濡れずすんだ。7人で2張りのらくらく寝ぐらを組立て、監督心づくしの缶ビールを飲み、肉うどんで満腹になると、19時半、早々に就寝となる。昨夜の寝不足ですぐに音楽を奏でた人もあるが、ぐっすりと眠った。

15日、4時半に起床して朝食、撤収後、6時過ぎ踏査会場へと急ぐ。3班に分れて区間割りの下見を行ったあと、踏査エリア内にある「観音峯山 1347M」に登ってみる。雨も上がり、時々眺望を楽しみながら、歩測や、定点確認の練習をして登り、観音平で小休止。歩き出すと又雨が降り出し、雨具上下をつけ傘をさして頂上へ向かう。明るい樹林帯であるが何も見えず、只黙々歩すが、けっこう花が咲いていて嬉しくなる。ツルリンドウ、フタリシズカ、ナデシコなど……。道中、奈良、長野、広島、香川のパーティに出逢う。雨は激しくなり、本来なら引き返すところであるが、「次回」を許されない限り、どうしても歩いておかなければならない。各県ともその思いは同じであろう。11時半、三等三角点の頂上に到着。土砂降りの中で農協米

がいたるところに見受けられ

を暖め、ナメコ汁と紅茶を作った。汁や紅茶の中には雨が入るし、副食も手渡しでゆっくり食べられないなかったが、笑いながらの和やかな昼食タイムであった。きつと、めんどうがらずに暖い食事を作ったことが良かったのだろう。一口のワインも美味しかった。食べ終ると雨でサツと食器を洗い？ 下山開始。この山は登りに下りがあり、下りに登りがあるいやらしさ。靴もぐしょぐしょ、全身びしょりりで下山する。(監督のみゴム長で快適)この日も雨でロスが生じて予定を消化できなかつた。下山後、踏査会場的一部分を確認の為に歩いたあと、縦走コースの特区間を走って前日と同じキャンプ場へ戻った。18時15分。

翌朝は4時半起床、5時出発で帰新予定の為、夕食をすませると、賑やかにキャンプファイヤーを楽しむ団体さんの声を聞きながら20時前就寝した。

往復24時間、滞在2日間の現地訓練は連日雨であったが、選手にとっては意義のある訓練だったにちがいない。本番が晴天とは限らないのだから、雨の為にタイムロスが出たのは仕方ないことであるが、北信越大会前にも感じたのと

同様に、選手に協力して訓練日に参加してくれる人がもったいたら、能率のよい訓練計画が立つのではないかと思うのである。新潟は成年男女、高校男女が個々に大会前の訓練に励んでいたが、一緒に現地入りをして、人海戦術で事前調査をすることができれば、経費も節約でき、訓練効果も上がる筈である。もつと横の連絡を密にし、個々のチームでなく、新潟県チームとして行動することが望ましいのではないかと思う。

このたびの奈良でも、選手が登攀の訓練中に、踏査会場を調査する応援部隊がいたらとつくづく思った。さらに食事作り専門、運転専門の応援があれば大助かりであった。遠路を貴重な時間をさいて行くのである、選手に時間いっぱい訓練してもらうためにも回りの態勢を整える必要があると思う。これからも団体があり参加する以上、監督、選手が決まるまでおまかせのような現状から脱皮して、成年男女、高校男女の4チームが本番にフルエントリーできるように、大勢の協力で、いっぱいある課題を一ツツ良い方向へ改善、実行させなければならぬと思う。このたびの奈良でも、毎年良い成績

をあげている県は、私達が、こうしたら、こうすればと思うことを可能にして現地入りをしている。

又、団体は経費がかかることも事実で、奈良行きも7万8千円の出費であった。燃料費と高速料金が大半である。予算がないのなら手弁当でいいし、それなら大勢の協力で負担を軽くすればいいと思う。春から団体関係の人達と少しばかりお付き合いをさせて戴いただけで、私ごときがこんなふうを書くのは大変おこがましいと思うのですが、現状を百パーセント報告できる能力もありませんが、表現不足でもその一端を記し、監督、選手の皆さんの労を犒うことができればと思います。(59・9・18記)

婦人部行事

応急処置

婦人対策副委員長

加藤 記代子

11月17日、18日の2日にかけて、指導員会副委員長の三富一弥さんにお忙しいところを無理にお願いして、「応急処置について」を指導していただきました。

9団体41名の参加者で、前日は村杉会館(公民館)で行なった。予定時間を1時間遅れ、19時開会式が行なわれた。平田部長並びに五十嵐篤雄協会代表による挨拶の後、三富講師によるテーピングの講習が約1時間行なわれた。時間が少ないので捻挫のテーピングに留ったが、最近スポーツ界では急速に普及しているだけに受講者の関心は高く、熱心に取り組む様に喜びをかくしきれなかった。正しい使い方を知っていたら効用はすばらしく、テーピングをかけた足で歩いてためし、一つ覚えた嬉しさを各々の身で表現し、時間の不足をもの足りなさそうにしていました。

恒例によりその後は親睦会で、飲めよ歌えよで思い思いに語り、12時をまわってしまった。

翌日は、予定通り7時30分から晩秋の五頭連峰三ノ峰山麓において実技講習が行なわれた。午前中は三富講師による「応急処置と運搬方法について」で、下肢骨折の応急処置について講習を受けた。数人組になって、お互いの知恵で固定したものの失格。解っているつもりが解らなかったというわけである。指導されてみるとちょっとしたポイントなのであるが気がつかないのは、日頃からの心掛けと経験がないからなのである。か。教えられると感心してうなづいていた。

また、運搬方法は、補助ザイルを使ってタンカを作り運搬する方法であるが、この方法は、非常に難しいのではないかと思われました。木その他の物が無い場合には、やむを得ずこの方法もあるということであると聞かれますが、運ばれる人が重いほどザイルの弛みがひどく運搬される人は体がまるめられる欠点があるので、負傷の状態及び距離などを考慮する必要がある。従って、運搬する人はその点を補わなければならぬので、タンカを張る力が余分にかることなる筈ですが皆さんはどのように考えますでしょうか。

また、心電図が出て脈を打ち呼吸がわかるというマネキンを使っての心臓マッサージ及び人口呼吸が行なわれた。口移しで呼吸を入れてやると胸がふくらみ、心臓をマッサージしてやると正しいか正しいか答えが出るしかけになっており、受講生の魅力の一つであった。

午後からは、平田婦人部対策部長による、「救助を待つときの事故者の保護と対応の

仕方」を指導していただきま  
した。部長の体験談を交えて  
の独特の話し方は、参加者を  
魅了しながらも仮小屋を2通  
り焚火を教えられ、各々で  
実地訓練をしてみました。

この講習会を通してわか  
ったとおり、自分ではいつで  
も対応できる、知っている  
と自負していても、いざやっ  
てみるとためらったり、誤っ  
ていたり、また、技術が過去  
のものであったりすることを肝  
に銘じ、常に研鑽しなければ  
ならないことを悟りました。

殊に、救急手当となると誤  
ったことは許されず緊張した  
場面もあり心地よい講習会  
であった。

天気は曇りで薄日がさす穏  
やかな日で、木の葉が舞う風  
流な光景は、安らぎを与え、  
野外講習に花をそえてくれた  
ようです。

### 冬山登山技術

#### 研修会案内

期日 2月16日(土)～17日

(日)

会場 米山

集合 16日18時集合、柏崎市

宿泊 谷根、谷根公民館

日程 16日19時～20時 座学  
20時～懇親会

17日7時出発 技術研  
修、15時終了、解散

参加費 3000円(会場費、  
懇親会費、通信費他)

装備 食糧、シュラフは各自  
持参、ピッケル、ザイ  
ル、ワカン、シュリン  
ゲ、カラビナ等、冬山  
技術を行うに必要な用  
具一式

問合せ 田中栄弘

大倉 証

山口 誠

申込 2月8日(金)迄

長岡市学校町1の12の

23 室賀輝男方

新潟県山岳協会

0258320428

0258320428

### 指導員研修会

#### 通信欄より

検定会で勉強させてもらっ  
た岩登りの技術をぜひ実行し  
て見たくて、槍ヶ岳の北鎌尾  
根を登りに行ってきました。

(9月12日～17日)北鎌のP。

でテントを張って泊っていた

ら、長野西部地震に会いまし

た。かんじとしては震度3位

でした。北鎌は足をすべらせ

たり、バランスをくずしたり  
したら死がまっています。お  
ととい(11月18日)二王子岳  
へ雪の感触をあじわいに行っ  
て来ました。今年は寒いわりに  
雪は少なかったです。

荒川ワンダー 小川 馨

先の地区検定会では色々お  
世話になり有難うございまし  
た。実技に学科に色々勉強に  
なったもの多く有意義な検定  
会でありました。これを機会  
に更に勉強したいと思ってお  
りますので今後共宜しく願  
います。

新潟鉄工山の会 北村 猛

奥羽山脈は1500～16

00mクラスの山がほとんど

なので、新潟から比べると小

さいようです。こちらへ来て

からは山から少し遠ざかって

しまい、沢1回、尾根3回、

あとは新潟へ行った時2回山

へ行った程度です。新潟の皆

さんへは鳥海山をおすすめし

ます。初夏にスキーを持って

……。

悠峰山の会 渡辺 重

今年は今まで山行回数14回、

飯豊縦走、中央アルプス縦走

銀太郎山から五剣谷岳などが

大きいものでした。未踏峰探

訪を相変わらず続けています。

これから頑張っていくます。

峡彩山岳会 筑木 力

朝日連峰、スーパー林道よ  
り、重蔵山へ樹形山へ化穴山  
へ以東岳までの新道を計画中。

朝日山岳会 遠山 実

当会の冬山計画は2月頃二  
王子岳へと計画しております。

今年飯豊、朝日でなく北ア  
ルプスへ足を伸ばしましたが、  
やはり飯豊朝日がいちばん良  
いと思っております。

加治川山の会 下條 莊市

11月23日JAC前会長長西堀

栄三郎先生をお招きすること

が出来、弥彦で吉田を中心と

したごく一部のJAC越後支

部会員からも出席願ひ山の懇

談会開催。翌日荒天の中弥彦

山へ御案内、夕方帰京されま

した。

越後吉田山岳会 山崎 幸和

夏山にクラブ合宿で念願の

平ヶ岳に登って来ました。ま

さに国鉄より最遠の山で登山

者もほとんど会わず、静かな

山頂が印象的でした。汚れな

き山をいつまでも守ってい

たいです。

高体連 浜田 亮一

飯豊連峰主稜冬期縦走を終

えて、来春は大朝日岳へと目  
標を転じ、荷上げの準備もほ  
ぼ終わりました。

豊栄山岳会 吉田 光吉

春から夏まではずいぶんが  
んばりしましたが、夏から秋に  
かけて雨にたたられさっぱり  
です。来春はどうしても鉢山  
へ行ってきました。

糸魚川山岳会 竹中正治

日曜が休日でないサラリ  
マンは年休消化がよくて、も  
う休んではいられない所に追  
い込まれてしまいました。一  
年をふり返ると平均月3回の  
山行は自分の納得のいくもの  
ばかり、体力もまだあるよう  
だから尾根に沢に岩に遊びた  
いと思っております。

新鉄山岳連盟 坂西 徹朗

### あとがき

明けましておめでとう  
ございます。

豪雪との格闘、御苦労  
様です。

「1984 積雪期登  
山の心構えと遭難防止」  
を熟読され、冬山遭難の  
無いようお願いいたします。

米山、2月16日～17日  
に逢いましょう。

